

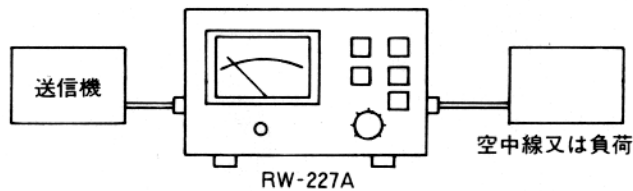
model RW-227A は新型方行性結合器を使用した130MHz～500MHz用の通過形電力計です。SWR測定が簡単な動作で直読できます。送信機とアンテナの給電線間に挿入して送信電力及び空中線系のSWRの測定に御使用下さい。

規 格

周波数節囲	130～500MHz
測定電力	20/200W(MAX 200W PEP)
インピーダンス	50Ω
残留SWR	1.2以下
指示誤差	FS, 10%
挿入損失	0.3dB以下
コネクタ	M型(MR50A使用. 空芯同軸型 M接栓. 50Ω)PAT. P
寸法	76×150×120(突起物を含まず)
重量	g

使用法及注意

図 A

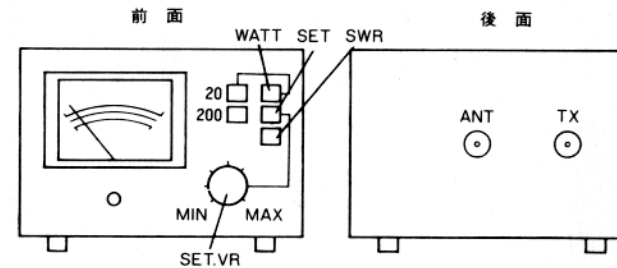


- ①本器のANT端子に空中線又は負荷を接続し、TXは送信機に接続します。
- ②送信電力を測る場合は WATT を押し、送信機の出力に応じて20W/200Wのボタンを押して送信して下さい。
- ③SWRを測定する場合はSET.VRをMINまでもどしSETボタンを押します。少しずつSET.VRを上げてゆき、メーター指針をCAL点で止めて、SWRボタンを押しますとSWRを直接指示します。

④CAL点(キャリプレート点)の説明

本器はCAL点を電力の大小により移動させて、SWRの指示を正確に測定する方法(PAT.P)です。5W以下、10W、20W以上の3点が記されていますので御使用の送信機出力に応じてCAL点を合せて下さい。(ダイオードの立上り特性により、一般に小さな電力ではSWRは良く表示されるための較正。)

- ⑤本機は高感度メーター(外磁型100 μ A)を使用していますので急激なショックを与えないで下さい。
- ⑥本機の内部は正確に調整されていますので、給電結合器部及び指示計セット部等は絶対に廻さないで下さい。
- ⑦高温、高湿、磁界(磁石)は出来るだけさけて下さい。
- ⑧接続ケーブル等のコネクターの加工(半田付等)は正確、確実に加工して下さい。加工が悪いと反射が多くなり、正確な測定が出来なくなりますから注意して下さい。



※性能改善等のためことわりなく回路及び定数等を変更することがあります。